

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	聖十字放課後等デイサービス希望の家		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフは医療福祉教育の専門職で構成されており、各専門分野の知識や経験を共有しながら連携・協働して支援が出来る	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己研鑽を行うとともにそこで得られた知識を必要に応じて共有している</li> <li>情報共有をこまめに行い、柔軟に利用児童の状態についてアセスメントをしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識や支援技能をアップデートする機会を持ち続ける</li> <li>より良い情報共有のあり方を検討し、実践していく</li> </ul>
2	利用児童の状態や課題に合わせてプログラムの内容や支援方法について検討できる	支援開始前にポイントを整理したり、定期的に進捗や課題について情報共有する仕組みを作ったりしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム等について利用児童や保護者の意向調査を行う</li> <li>計画的・効率的にするための仕組みづくりを充実させる</li> </ul>
3	利用児童の特性や意向を尊重しつつ、保護者の不安感が軽減するような支援を検討したり、家庭でのかわりについて提案が出来る	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係性構築を丁寧に行うように心がけ、保護者が不安に思ったり疑問を感じる事があればいつでもスタッフに伝えてもらいたい旨を伝えている</li> <li>HUGや電話などでのやり取りを漏れなく行うようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや気持ちを表現しづらい状態にある方の意思決定支援のあり方について学ぶ</li> <li>自己研鑽を続けるとともに、保護者等の満足度を確認していく</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童や保護者が地域の他の子どもと一緒に活動する機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用児童の実態に合わせた事業所内での活動を充実させることに注力していた</li> <li>利用児童や保護者のニーズの調査が十分にできていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用児童の意向を確認する機会を作る</li> <li>まずは比較的ハードルが低くて取り組みやすい活動を考え、年間計画の中に組み込むことを検討する</li> </ul>
2	保護者同士で交流したり集団で行うペアレントトレーニングを提供したりする機会が不足している	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士が交流する機会に対するニーズの調査が不十分</li> <li>直接支援を行っている時間帯にペアレントトレーニングなどを行う時間を捻出するのが困難だった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的の実施が出来るような年間計画を立てる</li> <li>実施が出来た場合には、その都度保護者の希望やニーズを確認する</li> </ul>
3	モニタリング等を計画的・効率的に行える仕組みづくりが整備されていない	効率的な業務分担をする仕組みづくりの途上であり、直接支援以外の時間を捻出するのが難しくなっている	必要な作業をより効率的に行える仕組みづくりを行っている

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 聖十字放課後等デイサービス希望の家

公表日 2026年3月31日

利用児童数 39

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1				
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	2		1		
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	2		2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1			1 個別支援計画に沿って支援してください ありがとうございます	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2		5		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	6	6	10	まだ通所を開始してそれ期間が経っていないのでわかりません。	
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	4	11		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	23					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2		3		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	6	6	10		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2		4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	3	1	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2		2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1		6		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	5	1	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2				

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		聖十字放課後等デイサービス希望の家			公表日	2026年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		広さ的には十分だと思うが「個室」「半個室」のようなスペースは増やせると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	60%	40%		・発達段階や課題的に個別対応が望ましいと考えられる児童が同時に利用する場合には、増員できることが理想。 ・記録入力や事務作業をしやすい枠組みが決まっていると安心
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ルールを視覚化して掲示することで構造化を図っている	身体疾患等を有している方への対応は十分にできないかもしれない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		リラックスできるマットやクッション等、ニーズに合わせてアイテムを追加していくことを検討
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンルームや個室ブース、相談室を用意して、適宜使用できるように準備している	個室等を利用したい児童が複数名いたときに不足することがある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%		・業務時間内で振り返る時間を適切にとれるようになるとう良い ・課題は共有できるようになったが実行力には欠けると思う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%		出来ている部分もあると思うが、チームとして扱っているかは不明
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		第三者評価は行っていないが、法人内で客観的な評価をしてもらう機会はある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	80%	20%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	職員それぞれが得ている情報や見立てを確認しながら計画作成を行っている	モニタリング時に共有する仕組みにもう少し工夫ががけると良い
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%		・インフォーマルなアセスメントが中心となっており、標準化されたツールの活用は不十分 ・より正確な知識が求められるため研鑽が必要だと思う

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	その日の利用児童の実態や課題に合わせてプログラムを毎回検討している	ある程度スケジュールを決めておけると良いかもしれない
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	利用児童の状態やニーズに合わせて「利用児童が少ないので個別対応がしやすい時間帯」「集団活動をしやすい時間帯」をそれぞれ提案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼の中で支援のポイントやプログラムの担当などを確認している	サービス提供時間の途中で出勤する職員との間での打ち合わせが不十分になりやすい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	時間的に十分行うことが難しい場合も多いが、可能な範囲で行えている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	60%	40%		モニタリングでの情報を共有して見直しするという一連の流れは整備不足と思われる
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	80%	20%	個別支援計画作成の際に意識的に組み込んだうえで支援を行っている	「地域交流」は人員配置や土地柄、児童の状態から難しいと感じることが多いため、あまり取り入れられていない
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	プログラムの参加について、声掛けは行いつつも利用児童の自由に委ねている		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%	20%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	40%	60%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	60%	40%	今年度、高校を卒業する児童があり、適宜情報共有や引き継ぎを行った	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	40%	60%		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		「地域交流」は人員配置や土地柄、児童の状態から難しいと感じることが多いため、あまり取り入れられていない	

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	20%	80%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%	家族等からご希望があった場合に相談対応を行ったり、希望の家からも困りごとに対する相談を提案して対応した	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		ニーズの調査を行い、必要に応じて実施が出来るように計画していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	40%	60%	HUGの活動記録で行事予定を保護者向けに案内している	SNSの活用は不十分であり、今後積極的な情報発信を行っていく必要がある
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人ファイルは鍵付きのロッカーに保管しており、またHUG内の情報も部外者からは見えないようになっている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		法人としては活動しているが希望の家として行うことはできなかった
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	40%	60%		部分的に確認できているところもあるが、完璧に行えているわけではない
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	60%	40%		医師の指示が出ているレベルの利用児童がいないが、対応できる準備を進めていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	必要な訓練は計画的に行っている	今後も継続的に訓練や研修を重ねていく必要がある

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	80%	20%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		